

NPO・草の根活動**交野市ボランティアグループ
高齢者支援「おりひめ」**

「おりひめ」は、交野市倉治地区の高齢者の皆さんが、いつまでも自分のことが自分で出来るようにと取り組んでいる自主グループのお手伝いをしています。1991(平成3)年に産声を上げたこの活動も、1997(平成9)年「大阪府知事表彰」、2006(平成18)年「大阪府草の根人権活動奨励賞」をいただきました。

これまでは、理学療法士や保健師の指示を頂き活動していましたが、2006年度より自主運営となり当座は不安でいっぱいでしたが、案ずるより生むが易しとはこのことでしょう。メンバーのKさんがリーダーを引き受けてくださり、ほのぼのとした笑いに包まれた2時間を皆さんと楽しんでいます。

昔からよく「遠くの親戚より近くの他人」といわれますように、いざという時は近所の人でないと頼りにはなりません。近所付き合いを大切にという戒めかと思えます。

いままで私たちは、経験したことのない高齢化社会を迎えたといわれておりますが、だからこそお互いの体験や価値観の違いを越えて、共有していく知恵を探していかなければならないのではと思います。

日本の家族様式であった、お年寄りを家族で扶養という意識も社会的扶養へと変化して参りました昨今、生産性を伴わないことに肩身の狭い思いをされることのないよう自ら誇りを持ち社会参加を活発にし、心を開いて下さる場になれば、こんな嬉しいことはありません。

毎週水曜日午後2時間という短い時間ですが、ボランティアがそれぞれの特技を生かして、手工芸、懐かしい歌、歌体操、お手玉、ボール遊びとバラエティ豊かに楽しんでおります。

75才から95才までの皆さんが話して下さる体験談やお人柄を知ることは、これからの私たちの生きていく何よりの道標であり勉強の場です。

戦前戦後の厳しい時代を必死で頑張り、経済成長の礎となられた皆さんが、心豊かな老後を過ごされますよう願わずにはいられません。

**外国人女性のエンパワメントをめざす
「くろーばー」**

くろーばーは2003年5月に設立した在住外国人女性のための相談機関です。2001年に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行され、DV(ドメスティック・バイオレンス)への社会的関心が高まりましたが、外国人被害者への支援体制は不十分でした。大阪にも当時、外国人と女性の両方に専門性を持つ団体がなかったことが設立のきっかけとなりました。DVというと、殴る蹴るといった身体的暴力のイメージが強いかもしれませんが、性的暴力や精神的暴力、経済的暴力なども多いうえに、「文化的暴力」「在留資格を利用した暴力」など外国人特有の暴力もあります。「お前は俺が金で買ったんや」「〇〇人のくせに」などと傷つけられる言葉を受けたり、在留資格の取得に協力してくれなかったりさまざまな方法でコントロールされ、力を奪われている女性たちがたくさんいること、そして言葉の壁やさまざまな不安から支援につながりにくいことが相談から見えてきました。

現在、活動の中心は相談事業です。5言語に対応するホットラインにはDV以外にも、離婚、在留資格、婚外子、子育てなどさまざまな相談が寄せられます。内容に応じて、アドバイス、面談、専門家紹介などを行っています。

相談には通訳・翻訳が不可欠で外国人女性当事者を含む20名程度の通訳者が活躍しています。ホットラインの通訳だけではなく、外国人当事者や行政機関などからの依頼に応じて、法律事務所、行政、相談機関、裁判所、病院等への通訳派遣や、相談機関や施設の案内の多言語化などを行っています。法律、福祉の背景知識、人権感覚や対人援助者の資質が必要な分野の通訳ですが、その専門性に適切な対価が支払われていないのが現状です。

昨年は「大阪府草の根人権活動奨励賞」をいただきました。財政、安全、人材確保など課題も山積みですが、相談者たちが安全と尊厳を取り戻していく姿から力をもらいながら今後も活動を続けていきます。皆様ご協力お願いいたします。

連絡先：くろーばー 事務局長 尾上皓美
TEL：06-6577-9680
FAX：06-6577-9681
メール：clover@nngo.jp

外国人女性・子どものための
多言語ホットライン

06-6577-9680

月曜：13:00-16:00

中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、英語、日本語

